

奥平洋子教授略歴・主要業績目録

学 歴

- 1963年 3 月 東京都立大学人文学部心理学専攻卒業
1966年 3 月 同大学院人文科学研究科心理学専攻修士課程修了（文学修士）

職 歴

- 1964年10月 埼玉県中央児童相談所臨床心理判定員
1970年 4 月 埼玉県立厚生専門学院保育科講師 {心理学, 乳幼児心理学, 児童心理学, 青年心理学担当}
1981年 4 月 埼玉県立衛生短期大学保育学科助教授 {乳幼児心理学, 児童心理学, 臨床心理学担当} 同年 4 月保育学科創設に伴う, 文部省大学設置審議会の教員審査において, 保育学科助教授 {上記科目担当} の資格があると認められた
1986年 4 月 同教授
1995年 4 月 北海道大学教育学部非常勤講師 (臨床人格心理学, カウンセリング論担当)
1996年 4 月 光塩学園女子短期大学保育学科教授
2000年 4 月 札幌学院大学人文学部教授 同大学院臨床心理学研究科教授

受 賞

- 1976年 5 月 日本保育学会29回大会発表論文「幼児の心身発達と環境—運動・社会適応を中心として—」に対し, 日本保育学会より倉橋賞を授与された

資 格

- 臨床心理士 1989年12月取得

〈学会関係〉

- 1963年 4 月～現在 日本教育心理学会会員
1964年 4 月～1984年 3 月 日本心理学会会員
1975年 4 月～現在 日本保育学会会員
1984年 4 月～2002年 3 月 日本小児保健学会会員
1984年 4 月～現在 日本心理臨床学会会員
1986年 4 月～現在 日本家族研究・家族療法学会会員

1997年4月～現在	日本精神分析学会会員
2004年4月～現在	日本子どもの虐待防止学会会員
1996年4月～現在	北海道子ども学会常任理事
1996年4月～現在	北海道虐待防止協会運営委員
1987年4月～2000年3月	全国社会福祉協議会・全国保育士会主任保母特別講座講師

研究業績

1. 著 書

1972年4月	「児童理解の心理学」(共著) 協同出版
1974年5月	「児童の福祉臨床心理」(共著) 学苑社
1977年3月	「乳幼児心理学」(共著) 東京書籍
1978年1月	「子どもを伸ばす保育の評価」(共著) (保育実践講座第7巻) 第一法規出版
1984年11月	「1・2歳児の発達と保育」(共著) 教育出版
1987年3月	「基礎心理学1. 入門心理学」(共著) 八千代出版
1988年4月	「乳幼児臨床心理学」(共著) 同文書院
1988年4月	「保育シリーズ1, 心理学」(共著) 学術図書出版社
1989年4月	「最新保育用語辞典」(共著) ミネルヴァ書房
1989年4月	「基礎心理学Ⅶ. 入門幼児心理学」(共著) 八千代出版
1992年4月	「幼稚園保育所での研究の進め方と実例」(共著) 萌文書林
1993年1月	「保育臨床心理学」(共著) ミネルヴァ書房
1994年1月	「乳幼児期の臨床心理学」(人間の発達臨床心理学Ⅱ (共著) 駿河台出版社)
1997年1月	「心の視点—カウンセリング・トレーニング—」(共著) 青木書店

2. 論 文

1969年11月	「育児行動における地域的差異—都市型農村型の検出と心理学的意味—」(単著) 『埼玉県第2回社会福祉職員研究論文集』
1970年6月	「母子関係の調整を主とした爪かみの事例について」(単著) 『児童相談事例集 第2集』 厚生省家庭児童局
1972年4月	「チック症状をもつ事例」(単著) 『埼玉県児童相談所紀要(25周年)』
1973年3月	「幼児のパーソナリティ評定における保育者と母親のずれについての一考察」(単著) 『埼玉県立厚生専門学院年報』 第3号
1973年12月	「母親の養育行動と子どものパーソナリティ発達—Breast Feeding

- と Attachment 形成, 子どもの社会適応について—」(単著)『山下俊郎古希記念論文集』
- 1976年10月 「幼児のパーソナリティ形成に見られる兄弟構成の影響」(単著)『埼玉県立厚生専門学院年報』第3号
- 1976年9月及び10月 「3歳児心理相談の手引き」(単著)『公衆衛生情報』Vol.9及びVol.10
- 1976年12月及び1977年11月 「幼児の心身発達と環境—運動能力・社会適応を中心として—」(星永と共著) {倉橋賞受賞論文} 『幼児の教育』75-12, 76-1, フレーベル館
- 1982年7月 「人間関係におけるやさしさ—受容について—」(単著)『芽』57年7月号
- 1984年3月 「保育園児の心身発達と生活環境」(共著)『さいたま小児保健』No.26
- 1985年1月 「養育行動・生活リズム・食行動と幼児の社会化に関する因子分析的研究」(共著)『埼玉県立衛生短大紀要』第9号
- 1985年12月 「家庭の養育行動と子どもの発達—3歳未満の保育園児を中心として—」(共著)『保育学年報』1985年, 日本保育学会
- 1986年5月 「現代社会における親と子ども—家庭をめぐる状況と親の価値観・子育て観を中心として—」(共著)『埼玉県自発的研究グループ調査報告書』
- 1988年2月 「自己イメージと職業イメージに関する研究—保母・保健婦・助産婦を志望する学生について—」(共著)『埼玉県立衛生短大紀要』第12号
- 1988年3月 「子どもの成長発達と養育環境についての縦断的研究—出生時から幼児期まで—」(共著)『さいたま小児保健』30号
- 1988年12月 「保健福祉系S短大生の生活と意識に関する調査研究—生活状況・生活信条を中心として—」(共著)『埼玉小児保健研究』30号
- 1988年12月 「保健福祉系S短大生の生活と意識に関する調査研究—生活状況・生活信条を中心として—」(共著)『埼玉県立衛生短大紀要』第13号
- 1989年3月 「衛生短大における幼児グループの経過と課題」(共著)『さいたま小児保健』31号
- 1989年7月 「中学生の志向性(欲求・不安・悩み)と対人行動—青年前期の心理的変容と親の役割を中心として—」(単著)『児童研究』68号, 日本児童学会
- 1989年12月 「乳児期における母性の形成過程に関する研究—事例的にみた母

- 子の関わり一」(共著)『埼玉県立衛生短大紀要』第14号
- 1992年7月 「幼児グループ「カメの子メイト」10年の歩み—発達遅滞児の母子援助過程一」(共著)埼玉県立衛生短大発達遅滞児母子援助研究会(10周年記念誌)
- 1994年12月 「低出生体重児の発達と養育環境に関する事例的考察」(共著)『埼玉県立衛生短大紀要』第14号
- 1999年2月 「児童虐待の背景とその防止, 援助活動について—北海道子どもの虐待防止協会の活動—」(単著)『心の健康』No.102
- 1999年3月 「地域子育て支援センターの研究—実態と課題—」(共著)『北海道青少年育成協会委託研究報告書』Vol.1
- 1999年3月 「北海道における少子化の要因に関する研究—乳幼児を持つ母親の子育て意識・困難に関する調査を中心として—」(共著)『北海道青少年育成協会委託研究報告書』Vol.1
- 2000年3月 「家庭に関する意識の調査研究—結婚と子育てに関する若者の意識」(共著)『北海道青少年育成協会委託研究報告書』Vol.2
- 2002年3月 「育児をめぐる家族関係と児童虐待に関する研究Ⅰ」(共著)『北海道青少年育成協会委託研究報告書』Vol.4
- 2003年3月 「育児をめぐる家族関係と児童虐待に関する研究Ⅱ」(共著)『北海道青少年育成協会委託研究報告書』Vol.5
- 2001年3月 「子育て・子育て今昔—共育ちの復権をめざして—」(単著)『札幌学院評論』No.24
- 2004年3月 「教育・実践・研究の輪の中での育ち合いを考える—発達遅滞児母子援助グループワークを中心に」(単著)『札幌学院評論』No.27
- 2005年8月 「幼児に対する母親の非統制的養育行為の実態と関連要因」(共著)『子どもの虐待とネグレクト』Vol.7, No.2 August 2005
- 2005年10月刊行予定 「早期発達支援はなぜ必要か—特別支援教育の展開に向けて」(単著)『札幌学院大学心理臨床センター紀要』第5号

3. 学会発表

- 1963年9月 「母親の性格・養育態度と子どもの性格特性」(単独)日本応用心理学会30大会
- 1965年7月 「人物画の検討 (1)グッドイナフ及び桐原式の基準 (2)新しい評価基準」(共同)日本心理学会29大会
- 1966年10月 「母親の養育行動の地域差について」(単独)日本心理学会39大会

- 1966年10月 「H T P 描画検査の検討 (1) Duck の量的分析 (2) 本邦資料との比較 (3) 分析項目の検討」(共同) 日本心理学会30大会
- 1968年 9 月 「自閉的症候を呈する幼児の指導」(単独) 埼玉県家庭児童相談員研究大会
- 1971年 9 月 「保育学生の職業選択意識の調査」(共同) 全国保母養成協議会研究大会
- 1976年 5 月 「幼児の心身発達と環境(1) — 運動能力・社会適応性を中心として —」(共同) 日本保育学会29大会 (倉橋賞受賞)
- 1977年 5 月 「同上(2) — 知能・社会適応と遊び要因 —」(共同) 日本保育学会30大会
- 1977年10月 「同上(3) — 養育環境と子どもの社会化 —」(共同) 日本教育心理学会19大会
- 1982年 5 月 「保育学生の自己イメージと保母のイメージに関する研究」(共同) 日本保育学会35大会
- 1982年 5 月 「幼児の運動機能の発達に関する諸要因の分析」(共同) 日本保育学会35大会
- 1982年11月 「3歳未満児の発達について(6) (7)」(共同) 日本教育心理学会24大会
- 1983年11月 「同上(8) (9)」(共同) 日本保育心理学会36大会
- 1983年 9 月 「同上(10)」(共同) 日本教育心理学会25大会
- 1983年10月 「幼児の心身発達と環境に関する一考察 (1) 生活環境・生活リズム・食生活行動の実態 (2) 身体発育・健康度・運動能力検査の比較」(共同) 日本小児保健学会30大会
- 1984年 6 月 「発達遅滞児の援助過程について」(1) 母子を対象とした小集団グループワークの効果について — (2) 母と子の社会への自立過程と援助」(共同) 日本保育学会37大会
- 1984年10月 「幼児の心身発達と環境に関する一考察 (3) 子どもの食生活行動・生活リズムと親の養育行動 (4) 子どもの運動発達と性格及び養育行動 (5) 生活リズム・食行動と適応」(共同) 日本小児保健学会31大会
- 1985年 5 月 「幼児の心身発達と環境に関する一考察 (6) 養育・生活行動と幼児のパーソナリティ (7) 生活行動と運動発達との関連」{共同} 日本保育学会38大会
- 1985年 9 月 「中学生の志向性と対人行動の変容」(単独) 教育心理学会27大会

- 1986年10月 「母親の生活価値観・子育て観・養育態度に関する研究 (1)小学・中学生の母親の生活価値観を中心として (2)出生順位から見た養育態度を中心として」(共同) 日本教育心理学会28大会
- 1986年10月 「発達遅滞児の援助過程について (3)問題発見・自立的選択行動獲得まで (4)母親グループカウンセリングについて」(共同) 日本小児保健学会33大会
- 1987年10月 「母親の生活価値観・子育て観・養育態度に関する研究 (3)養育態度と母親がみた子どもの性格特徴について (4)子どもの将来への不安(非行・社会適応・結婚生活)を中心として」(共同) 日本教育心理学会29大会
- 1987年10月 「子どもの発達に関する4事例の縦断的研究—妊娠・出産から1歳まで—」{共同} 母性衛生学会28大会
- 1989年11月 「登校拒否児の箱庭療法—母子並行治療とその展開—」{単独} 日本箱庭療法学会3大会
- 1993年12月 自主シンポジウム「産む性をどう生きるか」(共同) 日本心理臨床学会12大会
- 1993年10月 「ハイリスク児の多面的発達の早期介入効果：低出生体重児の縦断的研究 (1)発達検査からみたハイリスク児の発達過程 (2)母子相互交渉過程の分析 (3)母子関係の及ぼす食事への影響」(共同) 日本小児保健学会40大会
- 1993年10月 「一般を対象とした妊娠前半・後半・育児開始期における意識調査」(共同) 日本小児保健学会40大会
- 1994年9月 「子どもの発達と養育環境に関する事例的研究—低出生体重児の縦断研究」(共同) 日本小児保健学会41大会
- 1994年10月 「低出生体重児(超未熟児)の子育て支援について—医療サイドとの連携の試み」(単独) 全国保母養成協議会研究大会
- 1995年5月 「T市保育園における発達遅滞児の子育て支援 (1)地域の福祉システムとの連携の中で (2)システミック・アプローチとしての総合保育」(単独) 日本保育学会48大会
- 1995年11月 「低出生体重児の幼稚園・保育園への適応について」(単独) 日本新生児未熟児学会
- 1997年5月 「現代の子育て環境と支援に関する研究 (1)子育ての現状と母親の意識について (2)育児意識と生活価値観・志向性の世代間比較を中心として」(共同) 日本保育学会50回大会

- 1998年7月 〈自主シンポジウム〉子どもの育ちに今何が必要か（共同）日本教育心理学会40大会
- 2000年6月 「結婚・出産・子育てに対する若者の意識調査」（共同）日本子ども社会学会7回大会
- 2001年5月 「低出生体重児の学童中期の教育機関への適応と、学校教育における適応支援上の問題」（共同）日本教育心理学会43大会
- 2002年11月 「ジェンダー意識と養育行動－DVに対する許容度との関係」（共同）日本教育心理学会44回大会